

2017年
1月

みつみ福祉会情報誌フォーミー・トゥーミー

vol.33

For Me To Me

HUMAN SUPPORT

HUMAN SERVICE



Contents

■ 平成28年から平成29年へ向けて	
理事長 婦木 治	2
■ 各施設トピックス	3
■ 防犯対策の取り組み	8
■ 地域定着支援事業所紹介	9
■ 後援会27年度決算書	10
■ 後援会28年度予算書	11

平成28年から 平成29年へ向けて

社会福祉法人 みつみ福祉会

理事長 婦木 治

いよいよ年末を迎えた平成28年ですが、皆さんは今年一年をどのような一年だったと感じられますか。自然環境から見ますと実に雨も多く、台風襲来が多い年になりました。豪雨災害も各地で起こり、がけ崩れや河川の氾濫なども実に多く、尊い生命も多く犠牲になりました。また地震は大規模なものが熊本、鳥取、福島等で発生しました。本当に日本のどこに住んでいても安心して暮らせる場所はないのではないかと思うほどでした。本当に全世界規模で地球環境や防災について考えていかねばなりません。

一方私たち社会福祉を取り巻く環境を見てみると、社会福祉法人を取り巻く環境は民間の株式会社からの課税免除の問題で厳しい指摘も受けております。また、年々上昇する社会保障関連予算の問題は、事業者の経営に影響を及ぼし、利用者負担の高騰につながります。来る平成30年度の医療と福祉の全面改訂ではさらに厳しい内容が示されるのはと非常に憂慮しております。

現在、平成28年度29年度にかけて、社会福祉法の改正論議が真只中です。政省令も発出され本格的に新年度からは動き出していきます。定款も改定され、組織のあり方が全面的に見直されます。そして社会福祉法人の公益的取り組みの義務化が社会福祉法人にとって地域社会にその存在意義を知ってもらえるチャンスでもあります。

昭和26年度の社会福祉事業法から約65年経過してその間多少の改正はありましたが、今回の改正ほどの改革はありませんでした。この改革を各社会福祉法人がどのように受け止めているかは、かなりの格差があると思います。しかし、指摘され言われないと進化できない組織なら将来滅失してしまう組織になります。自己の組織の存続だけを死守し自法人の事業の正当性だけを言っていても、施設を利用される人達にとって本当に存在感があり、利用価値があるものでなければ社会福祉法人の未来はないと考えます。

平成29年度からが本当の真価が問われるときだと思います。

中 長期の計画も明確に示し、徹底した財務管理とチェック体制を整えて、社会福祉を必要とする人達すべてに対応できる法人として精一杯の努力をしていく覚悟です。

最 後に社会福祉施設の人材確保についてです。

こ の問題は年々厳しくなってまいります。各協議会等からも意思調査や実態調査も行われていますが、抜本的な解決策には至っておりません。また、奨学金制度活用や特別な補助金対策を打ち出していますが大きな成果はありません。爆発的には成果を期待できませんが優遇的な補助金をつけて、法人として出来る限りの広報をしながら地道に求職者を求めていくしか方法は見当たりません。イメージ戦略と口コミも重要な方法ですので、どうぞ皆さんのご協力を宜しくお願ひいたします。

皆 さんにとって平成29年が輝かしい、希望の持てる年となりますようにご祈念いたします。

各施設トピックス

春日学園

こども食堂“ポップコーン”始めました

第一回を11月19日に実施しました。こども食堂のコンセプトは、「こども食堂とは、こどもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂」—あなたが一人で來てもいい場所—です。決してこどもだけのものではなく、当日はご家族皆様で来られた方もありました。食事ができるまでは皆で楽しく遊びます。カレーライスにのせる目玉焼きは自分達で焼いて頂きました。そして、「いただきます!」と言ってから食べ、食器の片付けができた中学生までのお子さんは0円です。みなさん案内していたとおり、大きな声でいさつし、食べ終わったら自分で片付けをされていました。今後も月一回のペースで実施をしていきます。

“ポップコーンをもらいにポップコーンに行こう!”





子どもの育ちと学びを小学校へつなぐ

山の紅葉が日に日に色づき始めた11月22日（火）、周辺校区の3小学校（小川、久下、上久下）との交流会に5歳児が出かけました。例年、来年の4月から通う小学校への交流会は、学期ごとに行っており、1学期は主にプールでの交流、2学期はお店屋さんごっこ、3学期は体験入学をさせていただきます。

この日は、小川小学校へ通う子どもたちが小学校の1年生の皆さんと交流しました。

あいさつ、まねっこゲーム、じゃんけん列車などで緊張をほぐしてもらいながら、お店屋さんでは何回も回る子もいて、楽しい時間を過ごせました。

こども園と小学校の接続については、昨年度から2年間モデル事業として取り組み、アプローチカリキュラムを検討しているところです。子どもたちの小学校への夢や憧れや希望を損なうことなく、また、こども園で育ち、学んだ事が小学校以降の学びに向かう力につながるように期待してやみません。



魂の鼓動が鳴り響いた秋祭り

爽やかな秋晴れの下、京都SCの広場で秋祭りを開催し、和太鼓ユニット『ひとつ』様のダイナミックな演奏で会場は大いに沸き返りました。今年の秋祭りは『響』をテーマに和太鼓の他、一丸となって練習を積み重ねたチームグレートによる『よさこい天真爛漫』の鳴子の奏でした。ご利用者の皆様やご家族、地域の皆様にも大変好評で、今年の秋祭りは例年を上回る盛況ぶりでグレートなスマイルを頂きました。各グループホームや生活介護しんあい、ひよしの杜の保護者会の皆様で協力して出店した模擬店は、うどんや豚汁・おでんに肉まんと、秋風で涼んだ身体を温め、終始興奮冷めやらぬ秋祭りとなりました。





グループホームとだ
ケアハウスとだ

納涼祭

8月27日（土）に「グループホームとだ」と「ケアハウスとだ」と合同で「納涼祭」を実施しました。隣接するわかば保育園のグランドとホールをお借りして、グランドに屋台（焼き鳥、一銭焼き、炊き込みご飯、フランクフルト、アイスクリーム、ビール、ジュース、ゲームコーナー）を設営し、有料で提供しました。また、ホールにて飲食を楽しんでもらうとともに、ボランティアによる余興を楽しんでもらいました。地域の方、ご家族に多く参加して頂き、盛大に開催できました。尚、当日の売上については、戸田自治会の希望により、ゲートボール用品を購入し寄贈しました。



グループホーム
みつみ

グループホームみつみのご利用者の皆さんは平日、各事業所を利用されています。

そんな皆さんの楽しみは休日の買い物や地域行事への参加です。買物では、事前に計画を立て外出される方もいらっしゃいます。

そして、もう一つの余暇の取り組みとして、今年度よりおやつ作りを実施しています。今回はホットケーキ作りに挑戦されました。初めは戸惑いのあったご利用者の方も職員支援の下、上手く裏返す事ができて満足されたご様子でした。



デイサービスセンター
庵

今年度の新たな取り組みとして、8月に運営推進会議を開催しております。ご利用者やそのご家族、地域自治会長様、民生委員様、市担当者様をお招きし、地域との交流や意見をいただき、サービス向上につなげてまいります。第2回も29年2月に開催予定しております。

また昨年度実施しましたご利用アンケートに基づき、家族会の実施について調整中です。事業開始から5年目を迎える、対応の困難な認知症の方々も、地域で安心して生活していくよう、地域やご利用者、ご家族の要望に寄り添える事業所を目指してスタッフ一同、努力してまいります。



小規模多機能居宅介護事業
おとなせ

小規模多機能居宅介護おとなせでは、小規模ならではの特性を生かし家庭的な雰囲気の中で季節行事なども取り入れ、サービスを提供させて頂いております。

暑い夏も去り、過ごしやすくなった9月からは「敬老会」や「運動会」「文化祭」の作品作りなど、有意義に過ごして頂きました。



みつみいきいきフェスティバル

秋の夜長、虫の音が心地よい季節の10月23日（日）「みつみいきいきフェスティバル」を開催致しました。例年、岩屋自治会の方々を中心に、多数のボランティア様にご協力頂き、今年度も無事開催することができました。

演技では毎年お世話になっている、踊り「日本舞踊」、吹奏楽「山南中学校」などで盛り上げて頂きました。又、外部のイベント会社様に依頼し、ちんどん屋、アクロバットショーなどを取り入れ、ご利用者や保護者の皆様と地域の皆様方と共に、楽しい一時を過ごし、交流を図ることが出来ました。



デイサービスセンターおがわの里では、平成28年9月19日～23日の5日間を利用し「敬老会」を開催しました。各曜日にそれぞれ丹波市内のボランティアの方に来訪して頂き、マジックや日本舞踊を余興として提供させて頂きました。また、昼食については、職員の手作り弁当等ご利用者の方に楽しんで頂きました。

また、指先の機能訓練と脳トレを兼ねた活動として、縁起物の「達磨」を作成しています。水風船に細かくちぎった新聞紙を何重にも貼りつけ仕上げています。



黄色の大きな達磨は、男性ご利用者の方が一人で3ヶ月かけて製作されました。



毎月1回、カフェを開催しています。なかなか頻繁には外出の機会も作っていないので、喫茶店の雰囲気を味わつていただこうと特養内1階玄関ホールにて実施しています。ご利用者が各ユニットから集まって頂き、楽しくおしゃべりされています。カフェの始まる前に理学療法士のリハビリを取り入れた体操を行なったり健康増進の取り組みもしております。今年はご利用者だけですが、来年度から地域の方にも来ていただけるようなカフェにしていきたいと考えています。



みつみ福祉社会ハンドベルチーム 堂々の演奏

11月5日、福知山市役所と福知山市内で福祉事業を展開している事業所がコラボし、福知山駅前広場を中心に「介護の日週間」と名打った大がかりなイベントが開催されることを聞きました。

何か参加できることはないかと考え、オープニングセレモニーでハンドベルの演奏をしたらどうかな?そんな軽い冗談のようなノリで始めました。各事業所より参加希望の職員を募り、精銳10名と先生1名が集まりました。先生(わかば保育園の先生)の「毎週火曜日だったら練習できるよ」との温かいお言葉を頂戴し8月2日より練習開始、本番までに、13回の練習をかさねました。当初は、中々音が合わず…。四苦八苦の毎日でした。でも、本番が近くになると、真剣な眼差しでベルと音符をにらめっこ。夢にまで出そうなメンバーもいました。しかし、それぞれの職員の思いが一つになり、徐々に音が合うようになりました。

自分たちの出番が近づくにつれ緊張し、さらに追い打ちをかけるように、「インタビューもさせていただきます」と司会者の連絡があり「ほんと?」となりました。

いざ本番、すごく緊張しましたが、日頃の成果を発揮出来たと思います。周りの様子も目に入り落ち着いた演奏ができました。練習は嘘をつきませんね。

メンバー全員終了後は、満足感と達成感でいっぱいでした。

途中、ユニホームの選択や中間慰労会もあり大変楽しい時間を過ごせました。

普段の業務とはまた違った達成感も味わうことができ自分でもやればできるんだなといった自信にもつながりました。

後になりましたが、業務終了後、温かく練習に参加をさせていただきました事業所の皆さんには心からお礼を申し上げます。

ご理解とご協力をいただいたお蔭で、うまく演奏できたのだなと思っております。

追記

現在2曲だけなので、今後演奏曲目も増やす予定?

「また、機会があればボランティアに伺いますので、宜しくお願ひします。」



三愛荘
特別養護老人ホーム

9月15日、敬老祝賀式典に多くのご利用者及びご家族に参加して頂き、長寿のお祝いをいたしました。式典後、特養では敬老祝賀会を開催し、お祝いのお食事を召し上がり、余興としてボランティアの方による大正琴の演奏を鑑賞されました。綺麗な音色に聴き入り、皆さん大変喜ばれておられました。

11月17日には、特養運動会を開催いたしました。競技は玉入れやパン食い競争を行い、皆様笑顔で職員と一緒に楽しまれました。





11月8日に野村地区、棚原地区の皆さんをご招待しグランドゴルフ大会を開催しました。

30名以上の地域住民の方が参加され、ご利用者と一緒に優勝を目指しながらグランドゴルフを楽しみました。慣れないご利用者に対して地域の皆さんはやさしく指導して下さり、ボールを打つたびに笑い声や拍手が響きました。大会終了後は、就労継続支援B型事業のアタックNO.1で作っているお弁当を参加者全員で一緒に頂き、とても充実した地域交流となりました。

今回で第8回目の大会です。毎年参加していただける方も増えていますので、今後も行事や交流を通して地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいと思います。



特集

防犯対策の取り組み

各事業所から

三愛荘

7月の障がい者支援施設殺傷事件を受け、福知山民間社会福祉施設連絡協議会主催により福知山警察の方から「施設側としての防犯を学ぶ」研修を受けました。

防犯として重要な事は、

- 1、確実な施錠
- 2、侵入してきた時の対応
- 3、護身用の道具がどこにあるのか
- 4、入所者の避難をどのように行うか
- 5、来園者の把握
- 6、素早く危険を知らせる（警察への通報、園内への連絡）
- 7、防具・護身用備品

三愛荘設備として、全館電子ロック、警備会社と提携しておりますが、8月、三愛荘内で検討し、特に来園者の把握については、「来園者カード」への記入をお願いしています。

また、夜間の来園者への対応として、21時正面玄関を施錠、21時以降の来園者に対しては、特に慎重に対応するようインターホンで対応後、来園して頂いております。

さらに法人マニュアル「防犯及び事件発生時における行動要項」に従い、今後もご利用者の安心・安全な生活を守り、サービスを提供して参ります。



特集 地域定着支援事業所紹介

兵庫県地域生活定着支援センター 『ウイズ』

～地域で共に生きるために～

刑務所などの矯正施設を出所後、福祉的な支援がないと自立した生活を送ることが難しい障がい者・高齢者に対して、地域の中で自立した生活を送っていただくため、地域の関係機関と連携させていただいて、生活が安定する迄の一定期間伴走支援を行っています。(厚労省の通達事業です。) 『ウイズ』は、社会福祉法人みつみ福祉会が兵庫県より受託し、平成22年7月から運営を行っています。神戸保護観察所などからの依頼により、障がい者・高齢者で福祉の支援を希望する矯正施設入所者と面談を重ねニーズを把握し、福祉サービスの申請支援や出所後の受け入れ先等の調整及び行政や福祉関係機関等からの相談に応じ必要な支援や助言も行っています。

み つ み 学 苑

●すぐ出来る取組みとして

①センサーライトの取付

事業所玄関周辺及び館内の常時照明が無い場所へ人感センサーライトを設置し防犯の抑制を図っております。
(屋内3カ所、屋外3カ所設置)

②関係者以外立入禁止看板の設置

不法侵入防止のために公道との境界を明確にする必要があるとの警察署からの指導もあり、不審者対策の一環として入り口付近の3カ所に関係者以外立入禁止の看板を設置しました。

③法人作成の防犯マニュアルについて

法人作成のマニュアルの運用に向けて、玄関に受付簿の設置と夜勤者への防犯ブザーの携行の準備を進めています。その他、当苑独自のマニュアル作成についても合わせて検討しています。



春日学園

玄関・登校口・駐車場入り口に「関係者以外立ち入り禁止」のパネルを設置。

職員携帯用防犯ブザー購入予定。

特別養護老人ホーム

おがわの里

当施設は開設時より、入居者の方の安全確保を図るため、夜間帯等各ユニット玄関を電子ロックにより施錠し、不審者等の進入防止対策を図っています。

また万が一不審者が侵入してきた際に備え、非常通報装置を各階に設置しています。

今後は不審者が発見した際に他職員に伝える手段として、防犯ブザー等の携帯等を協議しています。

平成27年度 みつみ福祉会後援会決算書

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
会費収入	4,555,000	4,365,600	189,400
普通会費	4,554,000	4,365,600	188,400
一般	700,000	471,000	229,000
職員	950,000	900,000	50,000
幹部職員	300,000	195,000	105,000
一般職員	650,000	705,000	-55,000
保護者会	2,904,000	2,994,600	-90,600
ききょうの杜	756,000	780,000	-24,000
わかば保育園	0	54,600	-54,600
春日学園	1,080,000	1,080,000	0
みつみ学苑	1,068,000	1,080,000	-12,000
賛助会費	1,000	0	1,000
利用者	1,000	0	1,000
雑収入	1,000	1,293	-293
雑収入	1,000	1,293	-293
当期収入額計(1)	4,556,000	4,366,893	189,107
事務費支出	71,000	24,976	46,024
旅費	1,000	0	1,000
一般物品費（消耗品費）	5,000	0	5,000
会議費	30,000	17,544	12,456
役務費（手数料）	30,000	7,432	22,568
雑費	5,000	0	5,000
事業費支出	5,100,000	5,080,000	20,000
援助費	5,000,000	5,000,000	0
印刷製本費（機関紙発行）	60,000	60,000	0
障がい者スポーツ	40,000	20,000	20,000
当期支出額計(2)	5,171,000	5,104,976	66,024
当期収支差(3) = (1) - (2)	-615,000	-738,083	123,083
前期繰越金(4)	1,517,098	1,517,098	0
次期繰越金(5) = (3) + (4)	902,098	779,015	123,083

資 産 状 況 表

(平成28年6月30日現在)

区 分	前年度末残高	当年度末残高	差引残高
資産の部	6,517,098	5,779,015	-738,083
普通預金	3,991,903	3,253,297	-738,606
定期預金	2,525,195	2,525,718	523
純財産の部	6,517,098	5,779,015	-738,083
積立金	5,000,000	5,000,000	0
繰越金	1,517,098	779,015	-738,083

平成28年度 みつみ福祉会後援会予算書

科 目	予 算 額	27年度決算額	差 引 額
会費収入	4,416,000	4,365,600	50,400
普通会費	4,415,000	4,365,600	49,400
一般	500,000	471,000	29,000
職員	950,000	900,000	50,000
幹部職員	250,000	195,000	55,000
一般職員	700,000	705,000	-5,000
保護者会	2,965,000	2,994,600	-29,600
ききょうの杜	780,000	780,000	0
わかば保育園	25,000	54,600	-29,600
春日育成苑	1,080,000	1,080,000	0
みつみ学苑	1,080,000	1,080,000	0
贊助会費	1,000	0	1,000
利用者	1,000	0	1,000
雑収入	1,000	1,293	-293
雑収入	1,000	1,293	-293
当期収入額計(1)	4,417,000	4,366,893	50,107
事務費支出	66,000	24,976	41,024
旅費	1,000	0	1,000
一般物品費（消耗品費）	5,000	0	5,000
会議費	25,000	17,544	7,456
役務費（手数料）	30,000	7,432	22,568
雑費	5,000	0	5,000
事業費支出	5,100,000	5,080,000	20,000
援助費	5,000,000	5,000,000	0
印刷製本費（機関誌発行）	60,000	60,000	0
障がい者スポーツ	40,000	20,000	20,000
当期支出額計(2)	5,166,000	5,104,976	61,024
当期 収 支 差 (3) = (1) - (2)	-749,000	-738,083	-10,917
前期繰越金(4)	779,015	1,517,098	-738,083
次期 繰 越 金 (5) = (3) + (4)	30,015	779,015	-749,000

平成27年度みつみ福祉社会後援会活動に協賛いただいた事業所の皆様（順不同）

ありがとうございました

アイデア工房ぱらだいすトマト
安 田 技 工
井 本 自 動 車
藤 原 モ ー タ ー ス
株式会社 関西旅行社
株式会社 吉住工務店
株式会社 みどり防災
株式会社 シエルオーシャン
電化ランド おおつき
S E 洗 機 澤野令行
山 南 電 化 サ ー ビ ス
一般社団法人 京都微生物研究所
丹 波 医 療 株 式 会 社

株式会社 東兵庫魚菜
株式会社 ティー・ユー・ティー
福 大 商 事 株 式 会 社
丹波ひかみ農業協同組合
株式会社 前 原
株式会社 中庄本店
丹 波 製 麵 所
有限会社 小笠原米穀
株式会社 森田工務店
谷 川 設 計 事 務 所
神戸ヤクルト販売株式会社
株式会社 保険の夢工房
株式会社 横谷モータース

中兵庫信用金庫 春日支店
京都北都信用金庫 岡ノ町支店
大喜自動車工業株式会社
マンマシン株式会社
株式会社 石 坪
伊丹産業株式会社 氷上工場
荒川商事株式会社
株式会社 光 洋
村 上 廣 治 商 店

あとがき

2016年は、芸能界の不倫問題や覚せい剤所持等の不祥事に始まり、夏のリオデジャネイロ五輪で日本選手が活躍し、歴史上最多のメダル獲得。

秋にはアメリカの新大統領トランプ氏が誕生し、日本への影響が懸念されます。また、お隣韓国では、パク・クネ大統領の国家機密漏えいにより、大混乱を来しています。

さまざまな出来事の中、やはり私たちは7月に起きました「やまゆり園」の事件をトップニュースとして、深く考えさせられました。近年、福祉施設は開かれた施設運営を目指していたところで、地域の社会資源の一つとして皆様に利用していただけることを目標にしてまいりましたが、逆の発想や考え方が必要になりました。

施設としましては、屋外へ出て行かれるご利用者の対策は何処ともされており、外部からの侵入者（不審者）につきましては盲点が随所にあります。今回は「やまゆり園」の事件を教訓に特集でも取り上げておりますが、即出来る事と予算確保の上、計画的に取り組む事に分け改善が必要で、この事件を風化させることなく、日々の業務の中で常に意識し語り継ぐ事が必要と痛感致しました。

2017年、より明るい年となってほしいものです。

2016年12月発行
発行所／社会福祉法人 みつみ福祉会

発行人／婦木 治

〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地

TEL 0795-75-0314 FAX 0795-75-1694

E-Mail／mitumi00@mxa.nkansai.ne.jp

デザイン・レイアウト・制作／アイデア工房ぱらだいすトマト

奥平 晃己・大西 順子

掲載した写真等は、
個人情報保護法により、
ご本人、ご家族の了解の上
使用しております。

For Me To Me

vol.33